

原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。

以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

【取り扱い団体】

原発ゼロ署名にご協力下さい

【お願い】 お手数ですが、この署名はお近くの日本共産党事務所やお知り合いの日本共産党員にお届けいただくか、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所へファクス（06-6764-9115）いただければ幸いです。

内閣不信任案・菅首相退陣問題

被災者不在の党略

こんなとき何を…怒る国民

不信任案 自公の党略的提案

日本共産党は棄権

2日に否決された菅内閣不信任案。提案した自民・公明も一時それに同調した民主の一部も党略的で無責任でした。日本共産党は不信任案に棄権しました。

「退陣時期」めぐる混乱

みにくい党内抗争

一国の総理の“やめる、やめない”の発言に、前総理が「ウソつき、ペテン師」という。国民不在・被災者不在の、みにくい党内抗争はあきればかりです。

被災者救援、福島原発事故の収束…。やるべきことは山積しています。政治の中身をめぐるまともな論争をするのが国会の役割です。

「大連立」

何でも拳国一致は「大政翼賛」

NHKの討論番組で民主・自民の幹事長は「大連立」で足並みをそろえました。「『国難』だから拳国一致」では戦時中の大政翼賛会的に。被災者救援や当面の原発収束では党派を超えて力を合わせるべきですが、対立する点は議論をたたかわせることが必要。日本共産党は、論戦と被災者の要求実現のために全力で奮闘します。

政治の中身で論戦を

日本共産党

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2011年6月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目
15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上の見解を発表しました。